

- 年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2006.11.11.
- 56) 坂上直子, 李 敏啓, Ubaidus S, Paulo H, 小島 拓, 織田公光, 小澤英浩, 網塚憲生: カップリングとリモデリングのどちらが骨細胞・骨細管系の構築を規定するか. 平成18年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2006.11.11.
- 57) 井出良治, 小田陽平, 小林正治, 齊藤 力: 顎矯正手術と歯の移植術を併用して顔貌と咬合を改善した陳旧性顎顔面骨折の1例. 第72回日本形成外科学会新潟地方会, 新潟, 2006.11.13.
- 58) 荒澤 恵: 高圧酸素療法を併用した慢性下顎骨骨髓炎の治療. 第59回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟, 2006.11.22.
- 59) 新垣 晋, 小田陽平, 中里隆之, 新美奏恵, 船山昭典, 金丸祥平, 齊藤 力: 口腔および口峽咽頭扁平上皮癌頸部リンパ節転移の臨床病理学的検討. 第24回日本口腔腫瘍学会総会, 小倉, 2007. 1.26-27.
- 60) 小島 拓, 齊藤 力, 網塚憲生: MMP-9の軟骨内骨化における役割に関する組織学的検討. 第28回東北骨代謝研究会, 仙台, 2007. 2. 3.
- 61) 三上俊彦, 小田陽平, 中里隆之, 船山昭典, 金丸祥平, 芳澤亨子, 新垣 晋, 齊藤 力: 口腔多発癌の1例. 第25回日本口腔腫瘍学会, 名古屋, 2007. 2.2-3.
- 62) 林 孝文, 平 周三, 西山秀昌, 新垣 晋, 星名秀行: 口腔癌頸部リンパ節転移診断における携帯型超音波診断装置の有用性. 第25回日本口腔腫瘍学会, 名古屋, 2007. 2.2-3.
- 63) 小林正治, 小田陽平, 長谷部大地, 齊藤 力: 下顎骨前方移動術後に生じたProgressive Condylar Resorptionの検討. 第73回日本形成外科学会新潟地方会, 新潟, 2007. 2.19.
- 64) 船山昭典, 程 珺, 三上俊彦, 丸山 智, 新垣 晋, 齊藤 力, 朔 敬: 口腔粘膜上皮のポドプラニン発現様式は悪性化進行度の対応している. 第96回日本病理学会, 大阪, 2007. 3.13-15.
- 65) Kundu S, 三上俊彦, 丸山 智, 船山昭典, Ahsan S, Alvarado C, Al-Eryani K, 程 珺, 川島博行, 朔 敬: A possible role of retinoid signals in keratin expression profiles of oral carcinoma in-situ. 第96回日本病理学会, 大阪, 2007. 3.13-15.
- 66) Kamal Al-Elyani, 丸山 智, 三上俊彦, 船山昭典, 程 珺, 朔 敬: Pathogenesis of sudden round-shaped keratinization in carcinoma in-situ. 第96回日本病理学会, 大阪, 2007. 3.13-15.
- 67) 三上俊彦, 程 珺, 船山昭典, 丸山 智, クンドウ・スカリアン, 新垣 晋, 齊藤 力, 朔 敬: 口腔粘膜上皮内癌の鑑別診断にはCK17の免疫組織化学が有用である. 第96回日本病理学会総会, 大阪, 2007.3.15 - 17.
- 68) Mir N A, Sadakazu E, Tadaharu K, Kimimitsu O, Hayato O, Chikara S: Histological study of the cellular events during rat mandibular distraction osteogenesis. 第112回日本解剖学会総会・全国学術集会, 大阪, 2007. 3.27-29.

顎顔面口腔外科学分野

【論文】

- 1) Narai S, Kodama Y, Maeda Y, Yokoyama M, Takagi R and Kominami R: Trp53 Affects the Developmental Anomaly of Clefts of the Palate in Irradiated Mouse Embryos but not Clefts of the Lip with or without the Palate. *Radiat Res.* 166: 877-882, 2006.
- 2) Tsukamoto-Tanaka H, Ikegame M, Takagi R, Harada H and Ohshima H: Histochemical and Immunocytochemical Study of Hard Tissue Formation in Dental Pulp during the Healing Process in Rat Molars after Tooth Replantation. *Cell Tissue Res.* 325: 219-229, 2006.
- 3) Iida A, Narai S, Takagi R, Ono K and Ikeda N: Blepharo-Cheilo-Dontic(BCD) syndrome: case report. *Cleft palate Craniofac J.* 43: 237-243, 2006.
- 4) Nozawa-Inoue K, Suzuki A, Niwano M, Kawano Y and Maeda T: The expression of caveolin-3 in the fibroblast-like type B synoviocytes in the rat temporomandibular joint. *Anat. Rec. A Discov. Mol. Cell Evol. Biol.* 290: 238-242, 2007.
- 5) 高木律男, 福田純一, 小野和宏, 飯田明彦, 朝日藤寿一, 寺田貝人, 齊藤 功: Hotz床併用2段階口蓋形成法の長期予後-片側症例の成長終了時側面頭部エックス線規格写真による評価-. *日口蓋誌* 31: 245-252, 2006.
- 6) 勝見祐二, 飯田明彦, 池田順行, 小林孝憲, 朔 敬, 高木律男: 先天性ガマ腫の1例. *日口外誌* 52: 453-456, 2006.
- 7) 飯田明彦, 高木律男, 福田純一, 池田順行, 田中 裕: 先天性両側下顎関節突起欠損の1例. *口科誌* 55: 187-192, 2006.
- 8) 林 孝文, 田中 礼, 齊藤 力, 高木律男: 顎動脈の走行位置評価における超音波診断法の有用性. -造影CTとの比較-. *日顎変形誌* 16: 12-15, 2006.
- 9) 山中正文, 福田純一, 高木律男, 児玉泰光, 津端久美子, 中村順一, 齊藤 功: 上顎歯列の狭窄を伴う顎変形症に対して Le Fort I型骨切り術に口蓋傍正中分割を加えた2例. *日顎変形誌*, 16: 16-22, 2006.

- 10) 小林正治, 小田陽平, 長谷部大地, 加藤健介, 新美奏恵, 中里隆之, 泉直也, 高田佳之, 福田純一, 高木律男, 齊藤 力: 顎変形症患者に対する顎矯正手術後アンケート調査. 日顎変形誌, 16: 153-160, 2006.
- 11) 高木律男: 総説 顎関節内障 - 顎関節における血液供給の意義 -. 新潟歯学会雑誌, 36: 1-11, 2006.
- 12) 児玉泰光, 高木律男, 猪本正人, 飯田明彦, 山中文, 大鳥居淳, 神田健史, 高宮治生: 佐渡市立両津病院歯科口腔外科における抗血栓療法患者の非休薬下歯科観血処置 - 当科の対応とアンケート調査結果について -. 新潟歯学会誌, 36: 13-22, 2006.
- 13) 関 雪絵, 永田昌毅, 小玉直樹, 高木律男: FGFR2 シグナリング活性化が胎仔頭蓋底の軟骨分化におよぼす影響と分子機構の検討. 新潟歯学会雑誌, 36: 39-48, 2006.
- 14) 池田順行, 星名秀行, 齋藤正直, 飯田明彦, 高木律男, 林 孝文, 宇都宮宏子, 朔 敬: 舌顆粒細胞腫の1例と本邦報告97例の臨床病理学的解析. 新潟歯学会雑誌, 36: 49-53, 2006.
- 15) 小野和宏, 大内章嗣, 魚島勝美, 林 孝文, 西山秀昌, 安島久雄, 小林正治, 瀬尾憲司, 齋藤 功, 程 珺, 山田好秋, 前田健康: 歯科医学教育へのPBL テュートリアル導入 - 新潟大学歯学部の試み -. 日本歯科医学教育学会雑誌, 22: 58-71, 2006.
- 16) 山中文, 高木律男, 下条文武, 塚田弘樹, 内山正子: 北関東甲信越地区の病院により管理されているHIV感染者の実態調査 - 歯科治療に関するアンケート調査から -. 日本エイズ学会誌 8: 154-162, 2006.
- 2) 高木律男: 院内感染対策講演会「歯科医療における院内感染防止のための基礎知識を深めよう! - 歯科における院内感染対策マニュアルの活用 -. 歯系感染対策WG & 看護部共催, 歯学部講堂, 2006. 7.14.
- 3) 高木律男: 学術講演会「歯科における感染対策 - 歯科補綴治療との関連を中心に -. 日本補綴学会関東支部総会, 新潟, 2006.10.21.
- 4) 高木律男: シンポジウム「関節症と骨・軟骨変化: 軟骨下骨動態から病態へ迫る」・顎関節症. 第26回日本骨形態計測学会, 新潟, 2006. 7.27-29.
- 5) 高木律男: パネルディスカッションI「口蓋裂の2次修正, 5. 歯科口腔外科の立場からの口蓋瘻孔の対応」. 第24回日本頭蓋顎顔面外科学会, 長崎市, 2006.11.16-17. 第24回日本頭蓋顎顔面外科学会プログラム集: 72, 2006.
- 6) 福田純一, 林 孝文, 丸山 智: 「耳下腺リンパ性間質をともなう粘表皮癌: 転移か原発か?」. 第27回口腔三学会合同教育研修会CPC, 福岡, 2006.11.23-24. 第27回口腔三学会合同教育研修会資料: 29, 2006.

【研究成果報告書】

- 1) 研究代表者 藤田 一: IgG 受容体遺伝子多型は口腔扁平苔癬の疾患感受性マーカーになりうるか. 平成17-18年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号17592067, 計3, 500千円. 研究成果報告書, 2007年3月.
- 2) 研究代表者 高木律男: 口唇裂発症を伴う胎仔顔面突起に特徴的な分子発現様相の探索. 平成17-18年度日本学術振興会科学研究費補助金, 萌芽研究, 課題番号17659630, 計3, 200千円. 研究成果報告書, 2007年3月.

【著書】

- 1) 高木律男(分担): 角 保徳, 樋口勝規, 梅村長生 編: 一からわかる口腔外科疾患の診断と治療, 治療編・口腔外科基本手技(歯の移植, 唾石症). 370-376頁, 医歯薬出版, 東京, 2006.

【その他】

- 1) 西澤理史歩, 永田昌毅, 藤田 一, 星名秀行, 高木律男: 最近のトピックス: MMP-1 遺伝子プロモーター領域多型が示す口腔扁平上皮癌若年発症との関わりについて. 新潟歯学会雑誌, 36: 65-66, 2006.

【講演・シンポジウム】

- 1) 高木律男: 教育講演「口蓋裂手術 Hotz 床併用二段階口蓋形成法」. 第30回日本口蓋裂学会総会学術集会, 長野白馬, 2006. 5.25-26. 日本口蓋裂学会雑誌, 31: 85, 2006.

【学会発表】

- 1) Fujita H, Kobayashi T, Tai H, Nagata M, Hoshina H, Nishizawa R, Takagi R and Yoshie H: Susceptible gene search using single nucleotide polymorphism analysis in oral lichen planus. 88th Annual Meeting, Scientific Session and Exhibition of American Association of Oral and Maxillofacial Surgeons, San Diego, 2006.10.4-7.
- 2) Niwano M, Nozawa-Inoue K, Suzuki A, Ikeda N, Ajima H, Takagi R and Maeda T: Expression of Caveolin-3 in rat TMJ synoviocytes during development. 85th International Association for Dental Research, New Orleans, 2007, 3, 21-24.
- 3) Kanazawa K, Shibata T, Takagi R, Kakudo K, Yonezu H, Kino K, Hamamoto Y, Kubota E: Multicenter study on the polymorphisms of the

- cytokines for TMJD - A preliminary report -. 第1回国際顎関節学会&第19回日本顎関節学会総会, 名古屋市, 2006. 7.19-21. 第1回国際顎関節学会&第19回日本顎関節学会総会プログラム・抄録集: 239, 2006.
- 4) 池田順行, 安島久雄, 山田裕士, 嵐山貴徳, 庭野将広, 大鳥居淳, 高山裕司: 当科における顎関節に対する外科治療例の検討. 第1回国際顎関節学会&第19回日本顎関節学会総会, 名古屋, 2006. 7.19-21. 第1回国際顎関節学会&第19回日本顎関節学会総会プログラム・抄録集: 239, 2006.
 - 5) 安島久雄, 荒井良明, 寺田員人, 高木律男, 西山秀昌, 山田一尋, 高田佳之, 小野由紀子, 櫻井直樹, 井伊直子: 新潟大学医歯学総合病院顎関節治療班における顎関節症への対応. 第1回国際顎関節学会&第19回日本顎関節学会総会, 名古屋, 2006. 7.19-21. 第1回国際顎関節学会&第19回日本顎関節学会総会プログラム・抄録集: 239, 2006.
 - 6) 櫻井直樹, 河野正司, 林孝文, 西山秀昌, 高木律男, 山田一尋, 野村修一, 荒井秀明, 寺田員人, 宮島久, 加藤一誠, 細貝暁子, 安島久雄, 井伊直子: 顎関節症患者遠隔診断システムの試行. 第1回国際顎関節学会&第19回日本顎関節学会総会, 名古屋, 2006. 7.19-21. 第1回国際顎関節学会&第19回日本顎関節学会総会プログラム・抄録集: 239, 2006.
 - 7) 奈良井省太, 小林孝憲, 飯田明彦, 小山貴寛, 相田恵, 児玉泰光, 福田純一, 永田昌毅, 小野和宏, 高木律男: 口唇裂・口蓋裂患者に対する管理体制の検討-管理中断症例について-. 第36回新潟歯学会総会, 新潟, 2006. 4.22. 新潟歯学会誌 36: 110, 2006.
 - 8) 藤田一, 小林哲夫, 田井秀明, 島田靖子, 永田昌毅, 星名秀行, 関雪絵, 池田順行, 青柳貴之, 齋藤正直, 西澤理史歩, 黒川亮, 中間純子, 高木律男, 吉江弘正: 口腔扁平苔癬におけるSNP解析による疾患感受性遺伝子の探究. 第36回新潟歯学会総会, 新潟, 2006. 4.22. 新潟歯学会誌, 36: 109, 2006.
 - 9) 小林孝憲, 依田浩子, 丸山智, 船山昭典, 程珺, 高木律男, 朔敬: 口腔粘膜扁平上皮癌境界病変における組織幹細胞マーカー候補分子の発現様式. 第95回日本病理学会総会, 東京, 2006. 4.30- 5. 2. 日本病理学会誌, 95: 266, 2006.
 - 10) 山中正文, 飯田明彦, 藤田一, 星名秀行, 児玉泰光, 高木律男: 上部消化管内視鏡検査により重複癌を発見した顎口腔領域の癌患者の臨床的検討. 第60回日本口腔科学会学術集会, 名古屋, 2006. 5.11-12. 日本口腔科学会雑誌, 56: 155, 2007.
 - 11) 奈良井省太, 児玉泰光, 木南凌, 高木律男: p53遺伝子依存性アポトーシスは口蓋裂発生に寄与する. 第60回日本口腔科学会学術総会, 名古屋, 2006. 5.11-12. 日本口腔科学会雑誌, 56: 212, 2007.
 - 12) 碓井由紀子, 小野和宏, 朝日藤寿一, 幸地省子, 高木律男, 齋藤功, 八木稔: 二次的顎裂部骨移植の時期の違いが上顎骨の成長発育におよぼす影響について. 第30回日本口蓋裂学会総会学術集会, 長野白馬, 2006. 5.25-26. 日本口蓋裂学会雑誌, 31: 164, 2006.
 - 13) 飯田明彦, 高木律男, 小野和宏, 永田昌毅, 寺尾恵美子, 児玉泰光, 小山貴寛, 小林孝憲, 奈良井省太: 二段階法におけるFurlow法による軟口蓋形成術の術中・術後経過について. 第30回日本口蓋裂学会総会学術集会, 長野, 2006. 5.25-26. 日本口蓋裂学会雑誌, 31: 219, 2006.
 - 14) 児玉泰光, 小野和宏, 寺尾恵美子, 星亮子, 永田昌毅, 飯田明彦, 福田純一, 碓井由紀子, 寺尾恵美子, 山中正文, 奈良井省太: 口蓋裂患者に対する上顎前方移動術が鼻咽腔閉鎖機能に及ぼす影響-ナゾメータを用いた客観的検討-. 第30回日本口蓋裂学会総会学術集会, 長野, 2006. 5.25-26. 日本口蓋裂学会雑誌, 31: 224, 2006.
 - 15) 福田純一, 永田昌毅, 山田裕士, 池田順行, 高木律男: 外科的治療が奏効した上顎骨骨炎後の陳旧性開口障害の1例. 第44回日本口腔科学会北日本地方会, 郡山, 2006. 6. 2- 3.
 - 16) 中間純子, 星名秀行, 飯田明彦, 安島久雄, 嵐山貴徳, 齋藤正直, 高木律男, 鈴木誠: 下顎骨に発生した巨大な複雑性歯牙腫の1例. 第32回口腔外科学会北日本地方会, 郡山, 2006. 6. 2 - 3. 日本口腔外科学会雑誌, 52: 767, 2006.
 - 17) 児玉泰光, 高木律男, 小野和宏, 福田純一, 山中正文, 嵐山貴徳, 西山秀昌, 林孝文, 渡邊直子, 齋藤功: カスタムメイド人工骨を用いて顔面非対称を改善したHemifacial microsomiaの1例. 第16回日本顎変形症学会総会, 千葉, 2006. 6.21-22. 日本顎変形症学会誌 16: 81, 2006.
 - 18) 福田純一, 高木律男, 小野和宏, 児玉泰光, 山中正文, 齋藤功, 川原のぞみ: 末端肥大症が疑われた骨格性下顎前突症の1例. 第16回日本顎変形症学会総会, 千葉, 2006. 6.21-22. 日本顎変形症学会誌 16: 26, 2006.
 - 19) 藤田一, 小林哲夫, 田井秀明, 永田昌毅, 星名秀行, 西澤理史歩, 高木律男, 吉江弘正.: 口腔扁平苔癬における免疫関連遺伝子14種類のSNP解析. 第16回日本口腔粘膜学会, 新潟, 2006. 6.30- 7.1.
 - 20) 碓井由紀子, 小野和宏, 朝日藤寿一, 高木律男, 齋藤功, 八木稔: 二次的顎裂部骨移植の時期の違いが上顎骨の成長発育におよぼす影響について. 平

- 成 18 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2006. 7. 8. 新潟歯学会誌 36 : 89, 2006.
- 21) 嵐山貴徳, 高木律男, 福田純一, 安島久雄: 変形性顎関節症により生じた開咬症の 1 例. 第 71 回日本形成外科学会新潟地方会, 新潟, 2006. 7. 10.
- 22) 安島久雄, 笠井直栄, 嵐山貴徳, 飯田明彦, 星名秀行, 高木律男, 程 珺, 朔 敬: 診断に苦慮した Polymorphous low-grade adenocarcinoma(PLGA) の 1 例. 第 63 回日本病理学会東北支部会. 大阪, 2006. 7. 29-30.
- 23) 池田順行, 中間純子, 星名秀行, 鈴木 誠, 高木律男, 朔 敬: 巨大な複雑性歯牙腫の 1 例. 第 17 回日本口腔病理学会総会, 新潟, 2006. 8. 18-19. 第 17 回日本口腔病理学会総会プログラム・抄録集 : 41, 2006.
- 24) 依田浩子, 小林孝憲, Sukalyan Kundu, 朔 敬: 口腔粘膜上皮内癌におけるケラチン 13 免疫陽性消失機序 - フォルマリン固定パラフィン切片抽出 RNA による RT-PCR 解析 -. 第 17 回日本口腔病理学会総会, 新潟, 2006. 8. 17-19. 第 17 回日本口腔病理学会総会プログラム・抄録集 : 64, 2006.
- 25) 小玉直樹, 永田昌毅, 尾関 真, 木村 祐, 北郷明成, 田畑泰彦, 高木律男: FGF-2 含浸ゼラチンハイドロゲルがもたらす歯槽骨再生現象の生物学的解析. 第 9 回日本組織工学会, 京都, 2006. 9. 7 - 8. 第 9 回日本組織工学会プログラム・抄録集 : 2006.
- 26) 田口裕哉, 星名秀行, 荒井良明, 小林正治, 藤井規孝, 櫻井直樹, 久保田健彦, 中館正芳, 高木律男, 齋藤力, 魚島勝美: 新潟大学歯学総合病院における高度先進医療・インプラント義歯の現況. 第 36 回日本口腔インプラント学会, 新潟, 2006. 9. 16-17.
- 27) 高山裕司, 星名秀行, 高木律男, 田口裕哉, 魚島勝美: 下顎第二大臼歯部インプラント埋入時の熱傷の 1 例. 第 36 回日本口腔インプラント学会, 新潟, 2006. 9. 16-17.
- 28) 池田順行, 永田昌毅, 星名秀行, 山中文文, 青柳貴之, 庭野将広, 高木律男: 小児の下顎骨に発生した線維肉腫の 1 例. 第 18 回日本小児口腔外科学会総会, 東京, 2006. 9. 30. 日本小児口腔外科学会雑誌, 17 : 2007.
- 29) 小野和宏, 小林正治, 齋藤 力, 福田純一, 高木律男, 朝日藤寿一, 竹山雅規, 齋藤 功: 唇顎口蓋裂の上顎歯列狭窄に対する骨延長法の応用. 第 51 回日本口腔外科学会総会, 北九州, 2006. 10. 12-13. 日本口腔外科学会雑誌, 52 : 51, 2006.
- 30) 山中文文, 福田純一, 児玉泰光, 安島久雄, 池田順行, 嵐山貴徳, 高木律男: 側頭開頭術後に生じた開口障害の 1 例. 第 51 回日本口腔外科学会総会, 北九州, 2006. 10. 12-13. 日本口腔外科学会雑誌, 52 : 106, 2006.
- 31) 山田裕士, 小林孝憲, 星名秀行, 福田純一, 田中礼, 高木律男, 朔 敬: 診断に苦慮した巨大な上顎ポリープの 1 症例. 第 51 回日本口腔外科学会総会, 北九州, 2006. 10. 12-13. 日本口腔外科学会雑誌, 52 : 97, 2006.
- 32) 黒川 亮, 永田昌毅, 星名秀行, 藤田 一, 小林孝憲, 大西 真, 栗田 浩, 齋藤 力, 新垣 晋, 高木律男, 北村信隆: 舌癌悪性度に関連するインテグリン遺伝子発現の検討. 第 51 回日本口腔外科学会総会, 北九州, 2006. 10. 12-13. 日本口腔外科学会雑誌, 52 : 198, 2006.
- 33) 飯田明彦, 高木律男, 丸山 智, 朔 敬, 齋藤 功: 第三大臼歯に関連した歯根吸収により抜歯にいたった下顎第二大臼歯の 2 症例. 平成 18 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2006. 11. 11. 新潟歯学会誌 36 : 95, 2006.
- 34) 齋藤正直, 小林孝憲, 星名秀行, 永田昌毅, 藤田 一, 新垣 晋, 齋藤 力, 朔 敬, 高木律男: 当院口腔外科における舌癌の臨床病理組織学的検討. 平成 18 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2006. 11. 11. 新潟歯学会誌 36 : 96, 2006.
- 35) 勝見祐二, 宮島 久, 強口敦子, 本間 済, 堤 貴洋: 会津中央病院歯科口腔外科における菌性感染症に関する臨床的検討. 平成 18 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2006. 11. 11. 新潟歯学会誌 36 : 99, 2006.
- 36) 竹村 史, 森田修一, 八巻正樹, 齋藤 力, 高木律男, 齋藤 功: 偏位を伴う下顎前突症患者における中顔面正貌軟組織の術後変化. 平成 18 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2006. 11. 11. 新潟歯学会誌 36 : 101, 2006.
- 37) 青木由香莉, 李 敏啓, Ubaidus Sobhan, 小澤英浩, 前田健康, 吉江弘正, 山崎和久, 網塚憲生: 骨端軟骨の FGFR3 発現局在における分子組織化学的検索. 平成 18 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2006. 11. 11. 新潟歯学会誌 36 : 109, 2006.
- 38) 坂上直子, 李 敏啓, Ubaidus Sobhan, Paulo Henrique, 小島 拓, 織田公光, 小澤英浩, 網塚憲生: カップリングとリモデリングのどちらが骨細胞・骨細管系の構築を規程するか. 平成 18 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2006. 11. 11. 新潟歯学会誌 36 : 111, 2006.
- 39) 星名秀行, 永田昌毅, 青柳貴之, 高木律男, 荒井良明, 魚島勝美: 腭骨・インプラント義歯により咬合再建を行った口腔腫瘍の 4 例. 第 72 回日本形成外科学会新潟地方会, 新潟, 2006. 11. 13.
- 40) 児玉泰光, 瀬尾憲司, 田中 礼, 嵐山貴徳, 安島久雄, 飯田明彦, 高木律男: 下顎骨区域切除後の近位骨片

における疼痛に卵円孔ブロックで対処した1例. 第11回口腔顔面神経機能学会, 郡山市, 2007. 2.24.
第11回口腔顔面神経機能学会プログラム集: 3, 2007.

- 41) 福田純一, 高木律男, 飯田明彦, 星名秀行, 小野和宏, 児玉泰光: 当科で行っている下顎枝垂直骨切り術について. 第73回日本形成外科学会関東支部新潟地方会, 新潟, 2007. 2.19.
- 42) 星名秀行, 藤田 一, 池田順行, 齋藤正直, 高木律男, 勝良剛詞, 林 孝文: 温熱化学放射線療法後切除した下顎に対しチタンプレート・インプラント義歯で咬合再建した下顎歯肉癌の1例. 第25回日本口腔腫瘍学会総会, 名古屋, 2007. 2. 2- 3.

【研究会発表】

- 1) Hoshina H., Nagata M., Takagi R., Hashimoto A., Sato T., Taguchi Y., Sakurai N., Fujii N., Arai Y., Nakadate M., Kubota T., Uoshima K.: Functional reconstruction of mandible by fibula or iliac bone and ITI implant-supported denture: Report of four cases. Japanese ITI Symposium, Osaka, 2006.7.15-17.
- 2) 山田裕士: 巨大なポリープ様上顎周辺性粘液種の1症例. 第58回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟, 2006. 5.18.
- 3) 星名秀行, 荒井良明, 永田昌毅, 藤田 一, 池田順行, 齋藤正直, 勝見祐二, 高木律男, 魚島勝美: 温熱化学放射線療法後切除した下顎に対するプレート再建・インプラント義歯の適応. 第20回新潟ハイパーサーミア研究会, 新潟, 2006. 5.26.
- 4) 藤田 一, 小林哲夫, 田井秀明, 島田靖子, 永田昌毅, 星名秀行, 関 雪絵, 池田順行, 青柳貴之, 齋藤正直, 西澤理史歩, 黒川 亮, 中間純子, 高木律男, 吉江弘正: 口腔扁平苔癬におけるSNP解析による疾患感受性遺伝子の探究. 第6回新潟ゲノム医学研究会, 新潟, 2006. 6. 3.
- 5) 寺尾恵美子: 口蓋裂を伴ったNager症候群1例. 第124回新潟言語障害児懇談会, 新潟, 2006. 7. 8.
- 6) 黒川 亮, 永田昌毅, 星名秀行, 藤田 一, 小林孝憲, 高木律男, 齋藤 力, 新垣 晋, 大西 真, 大山登喜男, 栗田 浩: 舌癌悪性度に関連するインテグリン遺伝子発現の定量的検討. 第66回新潟癌治療研究会, 新潟, 2006. 7.29.
- 7) 山中正文, 小玉直樹, 清水常正, 山田泉, 安達直人, 西松輝高: むまた歯科口腔外科で治療した顎顔面領域骨折症例の臨床的検討. 第14回群馬県救急医療懇談会, 沼田, 2006. 9.9.
- 8) 飯田明彦, 高木律男, 小野和宏, 寺田員人: 出生前診断された口唇口蓋裂児2例の治療経験. 第45回新潟県小児保健研究会, 新潟, 2006. 9.22.
- 9) 児玉泰光: 出血性胃潰瘍から出血性ショック, 播種性血管内凝固症候群, 深部静脈血栓症を併発し, 縦隔炎に進展した高齢者歯原性頸部蜂窩織炎の1例. 第59回新潟口腔外科歯科麻酔科集談会, 新潟, 2006.11.22.
- 10) 青柳貴之, 星名秀行, 永田昌毅, 藤田 一, 池田順行, 高木律男: 口腔癌14例に対するTCF補助化学療法の効果と安全性. 第7回新潟口腔癌化学療法研究会, 新潟, 2006.12. 1.

【その他】

- 1) 高木律男: 「口唇口蓋裂ってどんな病気? どうやって治るの?」. 口蓋裂診療班主催, 母親教室, 新潟, 2006. 5.16.
- 2) 飯田明彦: ノースカロライナ大学留学記. 平成18年新潟大学口腔外科歯科麻酔科同門会, 新潟, 2006. 6.24.
- 3) 飯田明彦: 「顎裂部骨移植術について」. 口蓋裂診療班主催, 母親教室, 新潟, 2006. 7.18.
- 4) 寺尾恵美子: 「口蓋裂児の言葉について」. 口蓋裂診療班主催, 母親教室, 新潟, 2006.10.17.
- 5) 田畑泰彦: 大学院特別セミナー主宰「DDS化生体シグナル因子を利用した生体組織の再生誘導治療の最前線」, 2006.11. 1.
- 6) 飯田明彦: 口唇口蓋裂. 長岡赤十字病院看護学校講義, 長岡, 2006.11.7.
- 7) 飯田明彦: アメリカにおける歯科医療事情. 平成18年度新潟県社会保険診療報酬支払基金学術講演会, 新潟, 2006.11.21.

【科学研究費等】

- 1) 研究代表者 藤田 一: IgG受容体遺伝子多型は口腔扁平苔癬の疾患感受性マーカーになりうるか. 平成17-18年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号17592067, 計3, 500千円.
- 2) 研究代表者 安島久雄: 顔面頭蓋の形態異常を伴うCL/Fr系マウス顎関節の組織学的及び分子生物学的検討. 平成17-18年度日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究(B), 課題番号17791442, 計3, 300千円.
- 3) 研究代表者 高木律男: 口唇裂発症を伴う胎仔顔面突起に特徴的な分子発現様相の探索. 平成17-18年度日本学術振興会科学研究費補助金, 萌芽研究, 課題番号17659630, 計3, 200千円.
- 4) 研究代表者 高木律男: バイオマーカー発現定量による口腔癌の高精度個性診断の実用化. 平成17-19

- 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B) (2), 課題番号 17390532, 計 1, 302 千円.
- 5) 研究代表者 星名秀行: MMP-1 遺伝子多型 2G アリルは口腔癌発症のリスクを増加させる. 平成 18-19 年学度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 18592171, 計 3, 500 千円.
 - 6) 研究代表者 児玉泰光: 口唇口蓋裂発生メカニズムと p53 遺伝子依存性アポトーシスの先駆的研究. 平成 18-19 年学度日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究 (B), 課題番号 18791486, 計 3, 400 千円.
 - 7) 研究代表者 永田昌毅: 培養骨膜細胞と FGF2 の増殖分化誘導による歯槽骨増生法のインプラントへの応用. 平成 18-19 年学度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 18592172, 計 3, 600 千円.

【学会賞受賞】

- 1) 平成 18 年度日本口腔科学会学会賞奨励賞.
小山貴寛, 飯田明彦, 芳澤享子, 齊藤 力, 高木律男: 凍結培養細胞を用いた培養複合口腔粘膜作製に関する基礎的研究. 第 60 回日本口腔科学会学術総会, 名古屋, 2006. 5.11-12.
- 2) 第 60 回日本口腔科学会総会優秀ポスター賞.
奈良井省太, 児玉泰光, 木南 凌, 高木律男: p53 遺伝子依存性アポトーシスは口蓋裂発生に寄与する. 第 60 回日本口腔科学会学術総会, 名古屋, 2006. 5.11-12.
- 3) 第 19 回日本顎関節学会ポスター賞受賞.
Kanazawa K, Shibata T, Takagi R, Kakudo K, Yonezu H, Kino K, Hamamoto Y. and Kubota, E.: Multicenter study on the polymorphisms of the cytokines for TMJD - A preliminary report-. 第 1 回国際顎関節学会 & 第 19 回日本顎関節学会総会, 名古屋.

摂食機能再建学分野

【論文】

- 1) Stegaroiu R, Watanabe N, Tanaka M, Ejiri S, Nomura S, Miyakawa O: Peri-implant stress analysis in simulation models with or without trabecular bone structure. *Int J Prosthodont*, 19: 40-42, 2006.
- 2) Hayashi Y, Kobayashi H, Yamada Y, Miyakawa O, Tsujimoto K: Effects of heat treatment on fatigue strength of occlusal rests cast with Ag-Pd-Cu-Au alloy. *Prosthodont Res Pract*, 5: 195-202, 2006.
- 3) Ejiri S, Toyooka E, Tanaka M, Anwar RB,

Kohno S: Histological and histomorphometrical changes in rat alveolar bone following antagonistic tooth extraction and/or ovariectomy. *Arch Oral Biol*, 51: 941-950, 2006.

- 4) Binte Anwar R, Tanaka M, Kohno S, Ikegame M, Watanabe N, Nowazesh Ali M, Ejiri S: Relationship between porotic changes in alveolar bone and spinal osteoporosis. *J Dent Res*, 86: 52-57, 2007.
- 5) 本間 済, 河野正司, 櫻井直樹, 小林 博: 煎餅の咀嚼回数を指標とした咀嚼能力評価法による義歯装着効果の評価. *日本補綴歯科学会雑誌*, 50: 219-227, 2006.

【著書】

- 1) 小林 博 (分担): パーシャルデンチャーテクニク (野首孝祠 他編). 79-84, 180 頁, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2006.

【商業誌】

- 1) 田中みか子, 江尻貞一, 渡邊直子: エストロゲン欠乏による歯槽骨骨梁構造および固有歯槽骨の脆弱化に関する基礎的検討. *Osteoporos Jpn*, 14(4): 674-678 頁, 2006.
- 2) 伊藤圭一, 野村章子, 山田一穂: silicone model system によるスタディーモデルと個人トレーの製作. *歯科技工*, 14(4): 488-497 頁, 2006.

【研究成果報告書】

- 1) 田中みか子, 河野正司, 江尻貞一, 中島貴子, 澤田宏二: 全身的骨粗鬆症と歯槽骨骨梁構造変化との関連性 - サル顎骨を用いた基礎的研究からヒト顎骨における検証へ -. 平成 16-18 年度日本学術振興会研究費補助金研究, 基盤研究 (C) (2) (継続) 課題番号 16591938, 2006.
- 2) 江尻貞一, 田中みか子, 河野正司, 小林 博, 山田一穂, 小笠原正卓: インプラント植立予後推定のためのヒト歯槽骨の組織形態計測データベース構築の試み. 平成 17-18 年度科学研究費補助金, 萌芽研究 課題番号 17659608, 2006.
- 4) 櫻井直樹, 河野正司, 林 孝文, 鈴木一郎, 八木 稔, 野村修一, 高木律男, 山田一尋, 小林 博, 西山秀昌, 加藤一誠, 野村章子, 丸山 満, 飛田 滋, 本間 済, 寺田員人, 荒井良明, 星名秀行, 井上 誠, 福島正義, 田口 洋, 豊里 晃: ネットワークを活用した顎関節症, 咀嚼・嚥下障害患者の総合的診断支援システム構築. 平成 16-19 年度日本学術振興会研究費補助金研究, 基盤研究 (B) (2) (継続) 課題番